

2008年11月27日

磐田・富士見小でラグビー教室

ヤマハ発選手から学ぶ

磐田市富士見小学校で二十六日、四年生を対象としたラグビー教室が開かれ、七人制ラグビー日本代表監督の村田瓦さん(四〇)や、トッピング・ヤマハ発動機の現役選手からラグビーの基本や楽しさを学んだ。

村田さんは日本代表やトップリーグなどで活躍し、今春、ヤマハ発動機を最後に現役を引退した。同校には村田さんの長女が四年に在籍していて日々から交流があり、この日の教室が実現した。

村田さんと、ヤマハ



村田さんの指導でボールを奪い合うゲームに取り組む児童ら=磐田市富士見小学校で

発動機から久保見一、徐吉嶺、西直紀の三選手が来校。四年生百六人が指導を受けた。児童らは四班に分かれて、パスなどを使って七つのボールを奪い合つたり、コンタクトバッグを持った選手に押しだされないように一定のスペースを逃げ回つたり、ラグビーの基本動作につながるさまざまな運動に汗を流した。タグラグビーのミニ

「楕円形のボールを扱うのは難しかったが、やっていくうちにいつもしくなった。機会があればまた挑戦したい」と話していた。
(土屋祐二)

中日新聞

2008年11月26日

十一日前、静岡市清水区の清水南高校で開催される。同校のラグビー教室は四回目で、今年の講師は7人制ラグビー日本代表の村田瓦監督(ヤマハ発動機ジュビロ)。講演で選手時代の話を中心にラグビーを語り、実技指導でプレーの醍醐味を紹介する。

申し込みは不要で、年齢、性別を問わず参加できる。参加者は、運動できる服装で体育館用とグラウンド用のシューズを持参する。問い合わせは同校ラグビー部の黒田または柴山教諭=電054(334)0431へ。

ラグビーの魅力実技指導で紹介
清水区・来月講習会
知つてもう講演会と
実技講習会が十二月二